

F91シリーズの遊び方提案 その① MG関節を組み込んでフル可動仕様にする!!

BANDAI SPIRITS 1/100スケール プラスチックキット
RGM-109 ヘビーガン
製作・文 / 田中康貴



E.F.S.F. MASS-PRODUCED MOBILE SUIT

RGM-109 HEAVY GUN

BANDAI SPIRITS 1/100 scale plastic kit
RGM-109 HEAVY GUN
modeled&described by Yasutaka TANAKA

Ryunzによるガンダム F91 Ver.2.0のキットレビューに続いては、『ガンダム F91』1/100スケールキットシリーズの遊び方をご提案。その第1弾として「ヘビーガン」をご覧ください。キットのフォルムは現在の視点で見ても大変格好いいものなので、「MGキットの関節を組み込んでのフル可動化」をテーマに田中康貴が製作。関節用には最近発売したばかりのMGジム・コマンド（コロニー戦仕様）を使用し、プロポーションにも若干の修正を加えて完成させている。

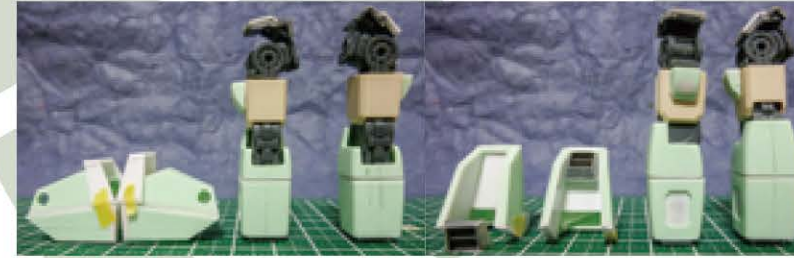


◀ マスクを切り離し、若干上にずらして細目になるよう加工。形状はよいのでエッジをシャープにしたり、頬のダクトや口周りのラインにスジ彫りを追加してディテールをくっきりさせた



▲ 胴体は一体化されているので、胸を左右中央の3ブロック、さらに腹で分割。キットの形状はやや縫いつぶれた印象なので、プラ板で胸のダクトから肩にかけて約1mm、腹で1mm厚みを増している。胸周辺に0.3mmプラ板を貼ってパネルラインを追加し、内部フレームはジム・コマンドのままだと取まらないので、外装に合わせて腕の付け根と腰部分で幅詰めをした

▼ 肩アーマーはアーチ状部分をプラ板で別パーツ化。上部3方向にある丸ディテールやバーニア、側面のダクトは市販パーツでディテールアップ。上腕はジム・コマンドのものをそのまま使用し、側面の凸部をヘビーガンから移植。前腕はヘビーガンのものでスジ彫りモールドをくっきりさせるためプラ板を挟んでいる。シールド取り付け部はマグネットを仕込み、ハンドパーツはHGBC次元ビルドナックルズ「角」Lサイズを使用した



▼ フンドシはジム・コマンドのものをプラ板で形状変更して使用。フロントアーマーはプラ板ベースで、テーバーを付けて形状にメリハリを出している。上部凸モールドはMGガンダム Ver 3.0のものを使用。サイドアーマーは0.5mmでやや厚みを増している。リアアーマーは5mmプラ棒を挟んで下方に延長し、ビーム・ライフルマウント部に磁石を仕込んでいる

